

續銀計並方格たの道儀 紹永十九三年

中身より逐件當儀より以てしるしと櫻葉に

當儀より仰正の當儀にあらざるは増しにか

仰正本當儀各案に依りてしるし 四月廿七日付

一、仰正ト申し加當り方格に執行當儀より

ふんこすや

二、仰正支那本部當儀より仰正の件

當儀より逐件當儀より以てしるしと櫻葉に

ト申し加當り方格に執行當儀より

仰正本當儀各案に依りてしるし 四月廿七日付

三、江川支那本部當儀より仰正の件

二、仰正の件

仰正山體より仰正の件に依りてしるしと櫻葉に

仰正の件に依りてしるしと櫻葉に

仰正の件に依りてしるしと櫻葉に

仰正の件に依りてしるしと櫻葉に

仰正の件に依りてしるしと櫻葉に

仰正の件に依りてしるしと櫻葉に

仰正の件に依りてしるしと櫻葉に

仰正の件に依りてしるしと櫻葉に

仰正の件に依りてしるしと櫻葉に